

特 集

コロナ機の調布STAYHOMEボランティア

NO.171

2020.10



えんがわだより

未来に向かって一歩ずつ

まちの「えんがわ」になりたい
調布市市民活動支援センター

えんがわだよりオンライン





グッドモーニング調布！の地域清掃活動に高校生2名が参加



クリーンアップ仙川！の様子

調布STAYHOMEボランティアを通じて、グッドモーニング調布！の地域清掃活動活動を知ってくれたお二人。

グッドモーニング調布！はいろんな年齢層の方々が、調布の街をより良くするために、仙川エリアの地域清掃、お花を植える緑化活動、養蜂など様々な活動を行っています。お二人はボランティアや地域のための清掃活動に興味を持ってくれたそう。

さっそく8月から地域清掃に参加してくれました。活動後には、ボランティアを続けていきたい！と言ってくれてうれしかったです。



未来に向かって一歩ずつ

コロナ機の調布STAYHOMEボランティア

新型コロナウイルスの感染拡大で、これまでの日常は大きく変わってしまいました。緊急事態宣言中、メディアは医療の逼迫、施設内クラスターなど、新型コロナウイルスに関するニュースで埋め尽くされ、暗く、先の見えない不安に襲われたことを覚えています。おしゃべりを楽しむこと、会食をすること、旅行やお出かけ、これまでの『当たり前』はいとも簡単に失われ、このままでは世の中にとつてもない変化が起こるのではないか、という危機感を強く感じました。コロナ機は、自分の生活、人としての在り方を考え、変化させていく必要性を考えるきっかけとなりました。

『困っている人の力になりたい』そう思っている人もきっといるはず――その気持ちを繋ぎたい、自分にてできる一歩を踏み出すきっかけが作りたい、その想いから『調布STAYHOMEボランティア』をスタートさせました。

調布STAYHOMEボランティアを通じて、多くの新しい発見がありました。それは一歩踏み出してみないと気づけなかったことです。今回はSTAYHOMEボランティアの活動を、ほんの一部ですが紹介します。



手作りのフェイスシールド30個を 調布市PCRセンターへ寄付

手作りのフェイスシールドを医療機関で使ってほしい、とご相談をいただきました。高校の休校期間、新聞記事で日本赤十字病院が文房具のクリアファイルを使ったフェイスシールドを作り、その設計図を公開していることを知ったことがきっかけとなり、『医療の最前線で感染症と闘う医療従事者の皆さんの力になりたい』と、3Dプリンターを使いフェイスシールドを30個作っていただきました。1つのフェイスシールドを出力するのに1時間以上の時間がかかったそう。とても大変だと思いますが、医療を支えてくれる方々への感謝が伝わってきました。調布市医師会を通じて、調布市PCRセンターでご活用いただけました。



武蔵野赤十字病院公開データ



調布WAT → 特定非営利活動法人きもの笑福へ七五三のお着物を寄付 団体同士の新しいつながりが生まれました。

特定非営利活動法人きもの笑福は、児童養護施設の子どものための日のお祝いをお手伝いするボランティア活動をしています。今年もたくさんの子供と七五三の晴着を着るのを楽しみに待っています。

『子ども達のためにぜひ使ってほしい』と、調布WATのボランティアさんより、七五三用のお着物を寄付くださいました。ご家族で大切に引き継いできたお着物とのこと。

団体同士がつながり、お互いの活動を応援できるつながりが生まれました。



七五三のお祝い 着付けの様子

STAYHOMEボランティアを終えて・・・

このプログラム中、模索しながらも色々な葛藤がありました。『会わないのに、繋がりなんてできるのかな？』これまでの価値観とは違うボランティア活動に対して疑問が浮かぶこともありました。しかし実際には、多くの参加者の方が『自分にてできること』の気持ちで込められた寄付をしてくださいました。申込書のわたしのきもち欄には、医療従事者の方への感謝の言葉や、誰かの役に立ちたい、というメッセージが沢山書かれていました。中には、寄付先へのお手紙を添えて持ってきてくださった方もいます。参加者のみなさんにとっても、コロナ機はこれまでの生活を見直し『私たちは今何ができるか』を見つめ直す機会となったのではないのでしょうか。

調布STAYHOMEボランティアをきっかけに、地域の様々な団体・施設を知り、その活動に興味をもち、『ボランティアをやってみよう』そう思ってくれたらうれしいです。

新型コロナウイルスは世の中に大きな変化をもたらしました。この変化を悲劇で終わらせないために、まずは自分のできることから始めてみませんか？ 市民活動支援センターはこれからも、地域とボランティアを繋いでいきます！『ボランティアしてみたい』そんな時はお気軽にご相談にいらしてくださいね。



市民活動支援センター 上野

お知らせ・ボランティア・寄付募集

大正琴体験会

大正琴を弾いてみませんか？

【日 時】第2、第3月曜日、第1木曜日 いずれも10:00~12:00

【場 所】菊野台地域福祉センター 第2集会室

【対 象】どなたでも

【備 考】大正琴はお貸しします。ご都合の良い日にちをご連絡ください。

【問合せ】琴望会 池田080-1288-5616

菊野台コーナー 青木042-481-6500（火・木・土）



「いきいきクラブ」調理ボランティア募集

総合福祉センター内にある介護保険デサービス「アイビー」の
昼食作りに参加しませんか。

【内 容】献立、買物、調理、後片付け（5人グループで行います）

【日 時】月1回以上で9時から15時

【場 所】総合福祉センター（調布市小島町2-47-1）

【備 考】ボランティア初体験の方もお気軽にご連絡ください。

【問合せ】調布市社会福祉協議会 通所介護サービス係 042-481-7660



子ども家庭支援センターすこやかへ寄付をお願いします！

子ども家庭支援センターすこやかは、子育てに関する総合施設です。

アクセスが便利なこともあり、毎日たくさんの親子でにぎわっています。

子どもたちが安全に遊ぶことができるように消毒用のウエスを募集しています。

・ウエス（バスタオル・フェイスタオル・ハンドタオル）

※サイズ・・・約15cm×15cmにカットしてください

※素材・・・洗濯済みのバスタオル・フェイスタオル・ハンドタオルに限りです。

消毒用に使用するため、清潔なタオルの提供を希望します。

【ウエス受付先】市民活動支援センターで受付けています。

042-443-1220



未使用のタオルの寄付をお待ちしています！

【内 容】高齢者施設、児童館、障がい者施設などに寄付する活動をしています。

【受付先】各コーナーまでお願いします。

あなたの想いを地域の力に！ボランティアガイダンスを開催します

※事前のお申込みをお願いします

【日 時】10月24日（土）14:00~15:00

【場 所】富士見コーナー

【問合せ】042-481-8719 担当：岡澤



【日 時】11月21日（土）13:30~14:30

【場 所】緑ヶ丘コーナー

【問合せ】03-3326-4088 担当：折原

えんがわだより特別号

「2020年度えんがわファンド」助成先団体決定!!

調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する市民活動支援センターのプログラム『えんがわファンド』の助成先団体が決定しました。

9月17日に選考委員会を開催し、選考を行った結果、4つの団体（新規3団体）に助成金の交付が決定しました。

	助成先団体名	活動内容
1	西部うたごえ広場の会	高齢者の孤独化防止と集いの場づくりを目的に音楽療法の手法を取り入れて活動しています。
2	調布ひきこもり家族会「やまぼうし」	ひきこもりで悩む当事者や家族が、何でも話し学べる場を提供し、安心して生活できることを目的に活動しています。
3	Withgrow	調布に縁の深い若年世代のメンバーが、YouTubeを活用して調布のまちを盛り上げる動画づくりを行って情報発信しています。
4	ミューズ	障がいのある子どもたちが市の制度（音楽療法）卒業後、活動の場を提供しながら、地域との関わりづくりを行っています。

えんがわファンドとは

えんがわファンドは、調布のまちが暮らしやすくなるための活動や、社会の課題を解決するための活動、先進的な活動などを行っている調布のボランティアグループ・市民活動団体等へ助成しています。このファンドをきっかけに、助成団体が新しい活動にチャレンジすること、他の団体と出会い新たなつながりが生まれることを意図しています。



サポーター会員募集中

サポーター会員になるには

年額：1口3,000円

サポーター会員が得られる6つの特典

- ・年に1度開催する「えんがわファンド交流会」の招待状が届きます
- ・機関紙「えんがわだより」が毎月1回届きます
- ・センターが主催する講座の参加費、電話代行サービスの利用料が20%offになります
- ・センター内にあるフリースペース「はばたき」が2か月前から予約できます
- ・センター内にあるサポーター会員専用の広報スペースが使用できます
- ・ボランティアや市民活動情報の提供を定期的に受けられます（希望者のみ）

市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

富士見コーナー

四半世紀これまでとこれから

富士見コーナーは今年開所25周年を迎えました。開所した1995年は阪神・淡路大震災が発生し、「ボランティア元年」と呼ばれた年です。当時より、さまざまな分野で活躍をみせるボランティアのみなさんは心強い存在です。

2019年10月には、味の素スタジアムまで徒歩圏にある富士見地域福祉センターがラグビーワールドカップのボランティアの拠点となりました。翌11月から2020年3月まで、富士見地域福祉センターの改修工事による全面休館を経て、気持ち新たに再び開所しました。

今夏はオリンピック・パラリンピックのボランティアが集う予定でしたが、コロナ禍で状況が一変しました。四半世紀にわたり地域の縁側として、人と人、人と活動、人と地域がゆるやかにつながってきた富士見コーナーがこれからも更に進化できるように尽力いたします。

(おかざわ)



1995年富士見コーナー開所式

市民活動支援センター（あくろす） WITHコロナでもできることから～自分にあった活動を見つけよう！

夜ごと虫の音に深まりゆく秋を感じます。日暮れが早くなり、風が冷たくなるこれからは、心なしか寂しくどこかに温もりを求めたくなりますねー。このところ、「続けられるかどうかわからないけれど、ボランティアをしてみたい」という相談が増えてきています。

お話を聞いてみると、「コロナでこもることが多く、家族以外と話をしていないので、外に出るきっかけを作りたい」、「引越してきて近所付き合いがなく、活動をして人の役に立ちたい」など、思いはさまざまです。人は役に立っていると感じたい生き物らしいです。

当センターではそんな思いに応える相談を受け付けています。興味のあることや、不安に思っていることなどをお聞きして皆さまのお気持ちをつなぎます。活動することで社会への関心が広がり、新たな発見や気持ちの変化があるかもしれません。焦らずのんびりした気持ちで、WITHコロナでもできることを見つけてみませんか？私ものはじめの一步を後押しできるよう頑張ります。

(すずき)



センターと各ブランチへのアクセス

●市民活動支援センター



調布市国領第2-5-15 コクティエ2F
Tel : 042-443-1220
Fax : 042-443-1221
Mail : npo-center@ccsw.or.jp
開館時間 : 8:30 ~ 22:00
休館日 : 第3月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始(12/29 ~ 1/3)
その他臨時休館日あり

●小島町コーナー



調布市小島町2-47-1
総合福祉センター2F
Tel : 042-481-7695
Fax : 042-481-6611
Mail : kojimacho@ccsw.or.jp
開館日時 : 月・金曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 佐藤・浅見

●染地コーナー



調布市染地3-3-1
染地域域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-3790
Mail : somechi@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 渡邊

●西部コーナー



調布市上石原2-15-6
西部地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-426-4335
Mail : seibu@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 浦井

●菊野台コーナー



調布市菊野台1-38-1
菊野台地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-6500
Mail : kikonodai@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 青木

●富士見コーナー



調布市富士見町4-15-6
富士見地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-8719
Mail : fujimi@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 岡澤

●緑ヶ丘コーナー



調布市緑ヶ丘2-18-49
緑ヶ丘地域福祉センター内
Tel/Fax : 03-3326-4088
Mail : midori@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 折原

●野ヶ谷の郷



調布市深大寺東町6-27-3
Tel/Fax 042-481-1838
開館日時 : 火・木・土曜日
10:00 ~ 16:00



市民活動支援センターは
NPOやボランティアなどの
幅広い市民活動を総合的に
支援するための拠点です

- ・NPOや市民活動についてのご相談
- ・市民活動についての様々な情報の収集
- ・パソコンを使った情報検索や資料作成
- ・壁面を使った作品などの展示
- ・フリースペースのご利用



ボランティアさんで運営する地域の居場所
「であい・ふれあい・支えあい」

野ヶ谷の郷から、

近何人かの友人が持ち家を売って
最マンション暮らしをはじめている。
年をとると近所付き合いもめんどうでその道を
えらぶのも判るが、人生の最後まで地域で
生きるには近くに息ぬきの場があれば・・・
同じような仲間が居れば・・・何とかなる
気がしている。野ヶ谷の郷はそんな場だと
思っていただけたら嬉しい。



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する
えんがわファンダサポーター募集中 1口3,000円

「えんがわだより」 発行・編集 : 調布市市民活動支援センター